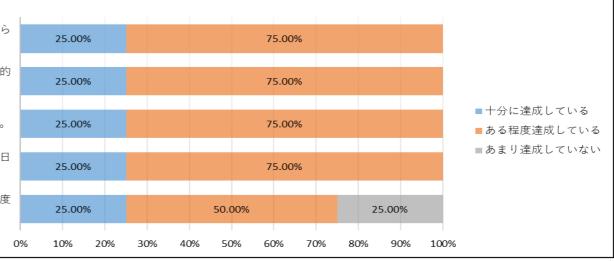
## 国際学類 国際社会コース (N=15)

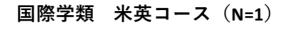
- (1) 国際問題を理解するために必要な基礎的科目で得た知識を習得している。
  - (2) 国際社会に関する専門的知識が系統的に学習され、 それについての深い知見を有している。
  - (3) 現代社会をマクロ的に展望する能力を習得している。
- (4) 国際社会に関して学んだ知識と理解などに基づき、外国語のコミュニケー ションを通して充分な自己表現能力を獲得している。
- (5) 国際社会に関する専門的知識に基づき、自主的に関心を持つテーマを見つ け出し、それを独自に考察し研究する能力を習得する。
- (6) 日本の文化・社会・歴史や日本語についてグローバルな視点から客観的に 観察できる態度と能力を獲得している。



## 国際学類 日本・日本語教育コース (N=4)

- (1)世界情勢を偏りなく見つめ、自己のアイデンティティを大切にしながら 異文化を受け入れられる価値観や包容力を身につけている。
- (2)日本の文化・社会・歴史や日本語についてグローバルな視点から客観的 に観察できる態度と能力を獲得している。
- (3) 日本文化や日本語・日本語教育に対する深い理解と知識を有している。
- (4) 自国文化や母語についての深い理解を前提として、国内外で外国人に日本語を指導するための高度な知識や教授法を身につけている。
- (5) 英語などの外国語コミュニケーション能力とともに、日本語による高度 なコミュニケーション能力を有している。



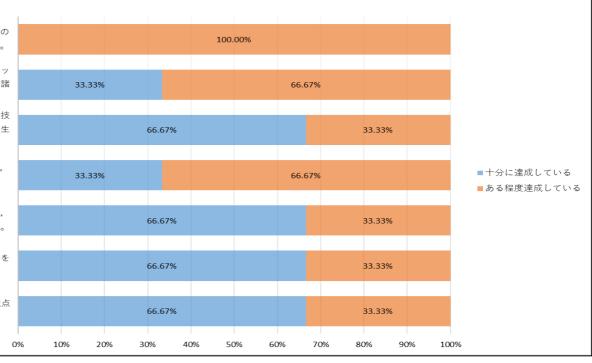


- (1) 英語圏の文化・社会の存在様態についての高度な知識を習得している。
- (2) グローバルな視座から俯瞰的に英語圏の文化・社会を考察する能力を獲得している。
- (3) グローバルかつ俯瞰的な視点から自国の文化を見つめ、それを考察する能力を修得している。
  - (4)英語で書かれた文献を正確に読解し、確実な情報基盤を築く能力を有している。
  - (5) 自らの論理的な思考を、正確かつ高度な英語を使って表現する能力を有している。



## 国際学類 ヨーロッパコース (N=3)

- (1) 現代ヨーロッパの政治・経済・文化について、将来この分野の 専門職業人として活動するに相応しい、基礎的知識を習得している。
- (2) 現代に生きる創造力ある世界であると共に、歴史と伝統の深い根を有する世界であるヨーロッパ文化を学ぶ者として、これまでのヨーロッパ文化が産み出してきた思想、文学、芸術等の歴史的諸価値に対しそれを理解する豊かな感受性を備えている。
- (3) それぞれの関心に従って仏・独・西語につき各言語の代表的検定試験(実用フランス語検定技能試験,ドイツ語技能検定,スペイン語技能検定)2級程度,即ち国際的な場で働く意欲のある学生に要求されるコミュニケーション力獲得までスムーズに到達できる基礎的語学力を習得している。
  - (4)自身のキャリア・パスと本コースで学ぶ専門知識を接続させ、 自身の進路をプロデュースできる職業設計能力を育んでいる。
  - (5) ヨーロッパのみならずその周辺諸地域(中央アジア圏,中近東アラブ圏,中南米地域)の社会・文化の理解のもと、複眼的に世界を見る目を有している。
- (6)他者へ及び多文化への旺盛な関心のもと単に日本に固執するのではなく、生活及び労働の場を 広く世界に求めることのできる、国際感覚と人間関係構築力を身につけている。
  - (7) 日本の文化・社会・歴史や日本語についてグローバルな視点 から客観的に観察できる態度と能力を獲得している。



## 【学生生活満足度(学類全体)】

